

NO.7
平成17年
(2005)

環境ひらかた

10
月号



自然エネルギーの利用と普及を考える

ひらかた自然エネルギー学校開校

ひらかた環境ネットワーク会議のごみ・エネルギー部会は、地球温暖化防止を目的に、多くの市民に自然エネルギーの利用と普及について考えてもらおうと、「ひらかた自然エネルギー学校(RESH)」を開校しました。8月6日の「自然エネルギー入門」から、来年1月14日まで7回の講座が続きます。現在、20人の受講生が、熱心に自然エネルギーについて学んでいます(2ページに関連記事)。

目次

自然エネルギー学校開校	2
エコフェアのお知らせ	3
各部会&運営委員会の活動	4
環境教育サポート部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(関西電力)	8

ごみ・エネルギー部会 ひらかた自然エネルギー学校が開校

自然エネルギー普及のための人材育成とネットワークづくりを目指す

中の受講生
手づくりしたソーラーカーの試走に夢



大阪府内では初めての試み

今年2月に京都議定書が発効し、地球温暖化への関心が高まる中、枚方市内でも何かできないかという強い思いで参集した有志により、約半年間企画・運営方法に議論を重ね、ごみ・エネルギー部会として、太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーについて学ぶ「ひらかた自然エネルギー学校 (RESH)」を開校し、8月6日ラポールひらかたに20人の受講生を集め、第1回の講義が行われました。

今回初めて開催するこの講座は、地球温暖化防止を目的に、多くの市民に自然エネルギーの利用と普及について考えてもらおうと、スタッフ8人で開校したもので、家庭や地域で自然エネルギーを普及させるための人材育成とそのネットワーク作りを目指しています。

同様の取り組みは、市民団体の主催で京都市や岡山市、和歌山市などで開校されていますが、大阪府内では初めてのことです。

講義は、立命館大学の和田武教授、NPO法人気候ネットワークの豊田陽介さん、大阪大学の濱恵介客員教授、大阪府立工業高専の杉浦公彦助教授など関西一円から著名な専門家を講師に招いて行います。

内容は、「自然エネルギー入門」「太陽光発電」

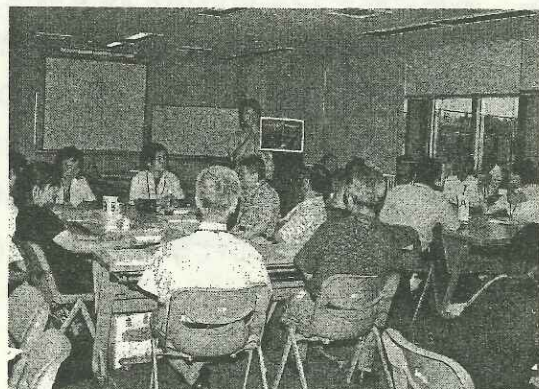
「風力発電、小水力発電」「自然エネルギーマップ作成」「雨水利用」「バイオマス利用」「エコ住宅、自然エネルギー普及への取り組み」の全7回で、来年1月14日までの7日間です。すでに3回目まで終了していますが、小型風力発電装置やソーラーカー、透水性植木鉢などの実物に触れるワークショップなどを行い、受講生の評判も上々です。

今後は、市内の太陽光発電施設、風力発電装置の見学や調査、雨水利用機器などの実物に触れるワークショップなどを行います。講義やワークショップなどをもとに、最終的には枚方市内の自然エネルギー利用現況のマップ作りを目標に講座を進めていきます。

地域で自然エネルギー普及のリーダーに

京都市の自然エネルギー学校では、講座修了後、受講生が自主的に集まって、地域で自然エネルギーの普及に取り組んでおり、枚方でも同様の効果を期待しています。

同講座を担当するごみ・エネルギー部会部会長の中村正紀さんは「環境問題に関心のある市民はたくさんいますが、行動に移す一歩がなかなか踏み出せないもの。この講座をきっかけとして、地域で自然エネルギー普及のリーダーになってもらいたい」と話しています。



講義に聞き入る受講生

今年からひらかた環境ネットワーク会議が運営に参画

ひらかたエコフェア2005

ストップ・ザ・温暖化 来て、見て、知ってね、エコのこと!

ひらかたエコフェア 2005 の季節がやってきました。今年から主催者である枚方市の要請を受け、ひらかた環境ネットワーク会議が「ひらかたエコフェア 2005」の運営に参画する事になり、その企画・立案を担っています。従って「ひらかたエコフェア 2005」は、ひらかた環境ネットワーク会議の一大イベントであり、何らかの形で会員全員の参加が望まれています。

昨年同様、ひらかた環境ネットワーク会議は、ラポールひらかたの3階ロビーで各部会の活動を中心に展示を行い、スタンプラリーも予定しています。加えて今年は「環境教育サポート部会」が屋外のテントコーナーで「出前授業」のPRを行います。皆様のご来場をお待ちしています。

エコフェアのひらかた環境ネットワーク会議のブース(昨年の様子)



エコフェア当日のスタッフ募集

ひらかた環境ネットワーク会議は、エコフェア事務局から「ひらかたエコフェア 2005」の運営に携わるスタッフを派遣してほしいとの依頼を受けています。会員の皆様のご積極的なご参加をお願いします。

【日時】

11月20日(日) エコフェア当日

【主な業務】

- ・ 会場全般の準備・後片付け
- ・ 会場全般及び駐車場の警備・誘導
- ・ 展示ブースの管理
- ・ エコフェア全体のスタンプラリー運営
- ・ ごみ箱設置・回収、清掃など

【申し込み】

電話、FAX、Eメールで、ネットワーク会議事務局へ

日時

11月20日(日)
午前10時～午後3時

場所

ラポールひらかた

ひらかたエコフェア 2005 の主なイベント

- | | |
|-------------------|----------------|
| ★アイドリングストップ車試乗会 | ★地場野菜・エコ農産物の販売 |
| ★エコレンジャーショー | ★エコクイズ |
| ★講演会「地球温暖化とトンボたち」 | ★リサイクル自転車の販売 |
| ★リサイクルチップの配布 | ★軽食模擬店 |
| ★食用廃油の回収 | ★歩行喫煙自粛キャンペーン |

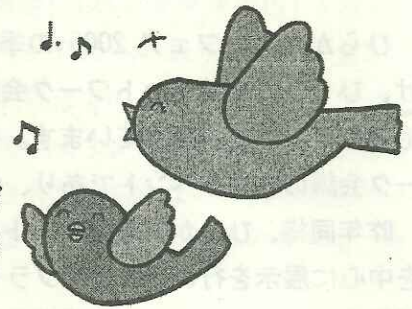
●各部会の活動

自然環境部会

守りたいね、身近な自然

市内に残された身近な自然、例えば神社林、屋敷林、学校の裏に広がる雑木林、ちょっとした広さの田んぼや畑等々。気がつけばいつの間にか、開発の波にのまれてなくなってしまっていたということもあります。

それでも「何とか残したい」との思いでさまざまな活動に取り組んでいます。しかし、私有地の場合いろいろな事情があり、私たち市民の思いとは裏腹に、開発を余儀なくされる場合が多々ありますが、そんなことにもめげず「身近な自然を守りたい」の思いを広げ、実践もしながら活動を進めています。皆さんも活動に参加してみませんか？



ごみ・エネルギー部会

市内小学校で廃食用油リサイクルの出前授業を予定

★廃食用油リサイクルWG：環境教育サポート部会の要請で、11月中旬市内某小学校での廃食用油リサイクルについての出前授業に、講師、事例紹介者派遣などの協力を予定しています。

★地域ごみ減量WG：ごみ減量フェアで廃棄物減量等推進員懇談会を傍聴し、推進員制度の現状・実態の一部を知ることができました。また、生ごみの堆肥化・エコ野菜の栽培を核とする「食の市内循環システム」の試験的構築を模索し始めました。

雨水モニターWG：この夏サプリ村野で月2回の打水実験を実施しました。今後のモニター活動として打水に代わる雨水利用に枚方市障害者事業協会の協力を得てグリーンハウス福祉事業所の鉢植え花壇の水かけが始まりました。またモニターとして開催を義務付けられている本年度の雨水環境学習セミナーは、RESH2005 第5回講座「雨水利用」が相当するとの府の承認が得られました。

公共交通部会

牧野駅—中央図書館 レンタサイクル実験を実施

公共交通部会では、次のプロジェクトを進めています。

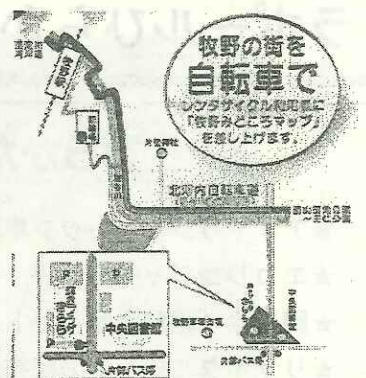
★ 11月10日～16日いよいよ実施！牧野駅と中央図書館とを結び、牧野駅周辺の魅力施設へのアクセスを自転車で確保することを目指す レンタサイクル実験。受付などのご協力をお願いします。

★ 楠葉地区バスマップ作成へ向けたワークショップの開催。

★ まちづくり部会と協働で樟葉駅前広場の利用・活用についてワークショップの開催。

★ 枚方市駅周辺の駐輪システムについては、7月15日に市長に提案書を提出しました。

11月10日～16日 レンタサイクル実験



まちづくり部会



枚方のまちを知るためフィールドワークを実施

枚方のまちをよりよく知るために、昨年のエコフェアで実施したアンケートの結果と、市発行の『ひらかた散策マップ』のコースを参考にしながら、フィールドワークを続けています。

8月は長尾・藤阪方面へ、9月は星ヶ丘・村野方面へ出かけ史跡・施設・街並みを観察し、まちのあり方について議論をしてきました。10月16日には万年寺山・枚方公園・旧桜新地方面へ、11月には香里団地方面を散策する予定です。是非ご参加ください。



環境教育サポート部会



子どもたちに環境の大切さ伝える

★自転車発電装置ついに完成★

自転車をこぐと発電してテレビ画面が映ります。運動エネルギーを電気エネルギーに変える大変さが実感できます。この装置、子どもに大人気。体験希望の方はご連絡ください。

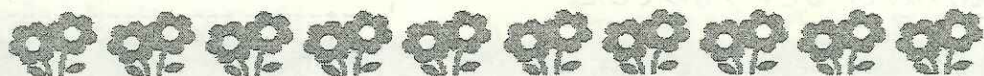
★ひらかた環境くらわんか塾スタート★

大阪府環境保全活動補助金を得て、20人の受講生で8月からスタートしました。11月までの全10回で、受講料は2,000円。途中からも受講できます。

★環境かたりべ★

環境の絵本などを使って、子どもたちに「もったいない」の心を伝えたいと計画しています。読み聞かせ、語りかけ、紙芝居などが好きな方、一緒に活動しましょう。

運営委員会



運営スタッフに新メンバー

この度、皆様のお手伝いをさせて頂く事になりました榎本眞（えのもと・まこと）です。

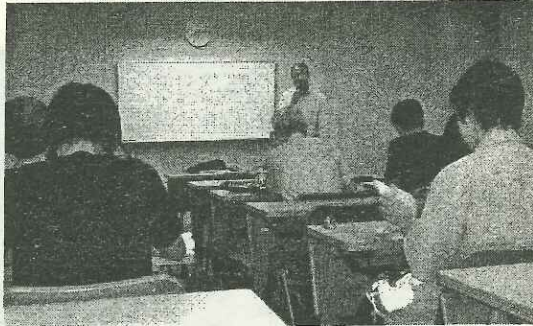
★住まいは四条畷の四條畷神社の近く。★家族は妻と息子3人（独身、長男・次男は福岡勤務、良き伴侶をと親の思い）+雑種中型犬シロ（驕に失敗、よく吠えます。約1時間のシロの散歩が私の健康管理）。★趣味は俳句、性格温厚、粘り強い（最近、気が短くなったかなど）。★経歴は昭和36年関西の電器メーカーに就職、主に生産技術・技術管理・購買管理に従事。若年時、京都の短期大学に籍を置く。★平成13年12月末、1年前倒の早期定年退職、現在に至る。★経験させて頂いた事を少しでも還元させて頂ければ幸いです。

至りませんが何卒よろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

環境教育サポート部会の「ひらかた環境くらわんか塾」を公共交通部会員がレポート

環境マネジメントシステム

EMSは「もったいない」を身に着ける仕組み



環境教育サポート部会が主催する『ひらかた環境くらわんか塾』におじゃまする機会を得て、9月12日に参加してきました。この講座は、全10回の環境教育サポーター養成講座で、4回目となる今回のテーマは、EMSのデザインングでした。主な内容は身の回りのPDCAの立案で、講師は小篠和之さんでしたが、聞きなれないEMS・PDCAサイクル(注1)・ISO(注2)などの横文字に、最初はどうかと戸惑いを感じました。

まず、長崎県立国見高校で行われている学校版EMS(注3)の現状の紹介ビデオを観ました。学校内有志による環境委員が、ごみ(分別)・印刷室の紙の使用量などをチェックし、生徒と教師の意識を啓発して、高校発エコシステムの持続可能な仕組みを作るよう努力が続けられているというものでした。

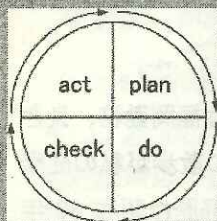
その後、PDCAサイクルの考え方について説明がありました。何かやろうと決めた時、問題解決のための道筋をPDCAに落とし込めば、より質の高い成果を生み出すことが出来るので、ぜひ日常的にやってみるようということでしたが、良い勉強になりました。

EMS といえば何か難しそうですが、良い意味でも悪い意味でも世の中が進歩しているので、昔とまったく同じ意味ではないにしても「もったいない精神」を身に着けるための仕組みのことだと思いました。戦後の生活を体験したものにとっては、節約は当たり前のことで、現在の若い人は恵まれ過ぎて当たり前のことができにくいようです。こうした「もったいない精神」を今の人に身に着けてもらえば、地球環境に寄与することができるようになるでしょう。

講座の内容はもっと深かったのですが、私たちの理解できたことしか表現出来ず、このような報告となりました。最初は躊躇われたのですが、他の部会の様子に少しでも触れたことは、よい経験となりました。

(公共交通部会員：恒川、松下、末岡)

注1：ここでいう学校版EMS(環境マネジメントシステム)とは、ISO14001(環境マネジメントシステム構築のための仕様)を簡略化し、独自評価指標を設定して自己評価する仕組み。



注2：PDCAサイクルとは、プロジェクトの実行に際し、「計画をたて(Plan)、実行し(Do)、その評価(Check)にもとづいて改善(Action)を行う、という工程を継続的に繰り返す」仕組み(考え方)のこと。PDCAサイクルの特徴は、プロジェクトを流れで捉え、評価を次の計画に生かしてプロジェクトをより高いレベルにもっていくことで、民間企業では品質向上や経費削減などに広く用いられてきた(電子行政用語集より抜粋)。

注3：ISO(International Organization for Standardization)とは電気及び電子技術分野を除く、全産業分野に関する国際的な規格の標準化を図るために、1947年に設立された民間の非営利団体。ISOが制定した規格には、品質管理システムを認証するISO9000シリーズや、環境管理・監査システムを認証するISO14000シリーズなどがある(電子行政用語集より抜粋)。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
☎072・847・2286

天の川大清掃に参加しませんか

美しい郷土「ひらかた」を次世代に残すため、3年前から市民・事業者・行政の協働で行われている「天の川大清掃」に、ひらかた環境ネットワーク会議として参加します。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：11月5日（土）、午前9時45分受付開始
※ 雨天の場合は6日に延期（前日午後9時の時点で当日降水確率が60%以上の場合）
※ 雨天の連絡はありませんので、各自確認してください

集合場所：浜橋交差点北河川広場

持ち物：特になし（軍手は支給されます）

申し込み：11月1日まで、事務局にて電話・FAX・Eメールで受け付け

まとめ役：まちづくり部会

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局まで申し込みください。

「環境のへえ〜」Vol.6

『エコドライブ』

車を使う場合には、環境にやさしい運転を心がけたいものです。

- 1 アイドリングストップを心がけよう
- 2 タイヤの空気圧をチェックしよう
- 3 不要な荷物を積まない
- 4 暖機運転は短くしよう
- 5 急加速、急発進をしない
- 6 車間距離を保つようにしよう
- 7 エンジンブレーキを活用しよう
- 8 駐車場所は良く考えよう
- 9 夏のエアコンは設定温度を1度高くしよう
- 10 計画的にドライブをしよう

<参考資料>

<http://www.jaf.or.jp/safety/ecodrive/index.htm>

平成17年度第1回臨時総会&NPO法人設立総会を開催 大阪湾環境浄化活動についての講演会を開催

平成17年度第1回臨時総会とNPO法人設立総会を右記の通り開催します。会員の方は、ぜひご出席ください。なお、議案などの詳細は、同封の開催案内と議案書をご覧ください。

また、総会終了後、大阪市漁業協同組合組合長の北村武さんを講師にお招きし「大阪湾の環境浄化活動」をテーマに講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時：10月23日（日）

午後0時30分 受付開始

午後1時00分 臨時総会開会

午後1時30分 臨時総会終了予定

午後1時30分 NPO法人設立総会開会予定

午後2時35分 NPO法人設立総会終了予定

午後2時45分 講演会開催

場所：メセナひらかた6階大会議室

会員数(平成17年10月1日現在):正会員206名(個人169、団体37)、賛助会員39名(個人31、団体8)

団体紹介 コーナー 関西電力(株)

設立：1951年 社員：22,482人
 守口営業所長：青木 良平
 ホームページ：<http://www.kepco.co.jp>

地球温暖化防止のためさまざまな取り組みを展開

枚方市駅前
で苗木を配布する
関西電力の社員



関西電力は関係会社も含めて、地球温暖化防止のさまざまな取り組みを展開しています。

例えば電力供給における温室効果ガス排出量の削減方策として、発電時にCO₂を排出しない原子力発電所の安全運転の推進、火力発電所においてはCO₂を分離・回収する研究開発を進めています。

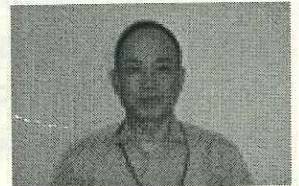
また、風力・太陽光発電の開発、普及、社会全体のエネルギー利用の効率化を推進しています。

関西電力グループのエコ・ビジネスとして、水力発電所で発生する流木・落ち葉をリサイクルし

エコフェアで環境に優しい活動紹介

<所長は語る>

関西電力では、枚方市が主催・協賛する各種イベントを通じて、地球環境に優しい活動の紹介を展開しています。



環境に優しい活動について話す青木所長

11月20日に開催される「ひらかたエコフェア2005」にも出展し、児童向けのエネルギー学習をはじめ環境クイズや、環境に優しいIHクッキングヒーターの展示・実演などを行う予定です。

た土壌改良材や園芸商品の販売、ヒートアイランド対策としてコケ等を用いた屋上緑化商品などの生産・販売もしています。

出前授業を実施 小学校を対象に「エネルギー・環境」を題材とした出前授業も行っています。

[連絡先：関西電力守口営業所 所長室 地域共生・広報担当 TEL.06・6906・3002]

編集後記

読書の秋、食欲の秋と言いますが、ネットワーク会議にとっては、「イベントの秋」です。NPOフェスタに、天の川大清掃、そして、ひらかたエコフェアと、参加イベントが目白押しです。加えて今年は、NPO法人の設立総会も控えています。行事で汗をかいた後は秋の味覚に冷えたビール(コーラ?!)、といきたいところですが、法人設立はゴールではなくいよいよ本格始動のスタートラインに立ったと考えるべきなのでしょう。さらなる収穫に向け、みんなで大いに汗をかいてイベントを盛り上げ、会員同士の交流を深める秋にしましょう！ (鍛冶谷記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第7号

平成17年10月1日発行(年4回発行)

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

